

七条中学校だより夏休み3号

京都市立七条中学校

令和8年8月17日

発行:校長 林 秀雄

夏休み後半 夏休みの4つの実践を振り返ろう① 目標を立てよう

猛暑が続いた夏休みも、残すところあと9日となりました。1学期の終業式の日、私はみなさんに「夏休みに取り組んでほしい4つの実践」を提案しました。それは、自分の成長のために、自ら考え、自ら行動する夏にしてほしいという願いからでした。

この夏、みなさんはそれぞれの場所で様々な経験を重ねてきたことと思います。うまくいったこともあれば、思うようにいかなかったこともあったでしょう。しかし、その一つ一つの経験は、みなさんの大切な成長の足跡です。2学期のスタートを前に、改めて4つの実践を振り返り、この夏の学びや気づきをこれからの学校生活にどう生かしていくのか考えてみましょう。夏休みの経験を力に変えて、新たな一歩を踏み出してほしいと思います。

その一つ目が、「目標を立てよう」でした。なぜ目標を立てることが大切なのでしょう。それは、目標や目的が決まると、自分が何をすればよいのかがはっきりするからです。地図がなければ目的地にたどり着きにくいように、目標がなければ毎日の行動も何となく過ぎてしまいます。

さて、みなさんは夏休みの初めに立てた目標を覚えていますか。「毎日〇時間勉強する」「部活動で新しい技術を身につける」「読書を〇冊読む」「家族の手伝いを続ける」など、それぞれの目標があったと思います。

今、改めて自分自身に問いかけてみてください。どんな目標を立てましたか。その目標を意識して生活できましたか。目標達成に向けてどのような行動を続けましたか。目標はどこまで達成できましたか。もちろん、思うように取り組めなかった人もいます。しかし、大切なのは「目標を達成できたか」だけではありません。**達成できたかどうかよりも、目標を意識して行動したことに価値があると考えます！**

目標を持って過ごしたことで、自分に足りないことや、これから頑張るべきことに気付けたなら、それも大きな成長です。夏休みはもう少し続きます。まだ9日あります。9日しかないと思えるか、9日もあると思えるかで行動は変わります。今からでも目標を見直し、残された日々を有意義に過ごしてください。そして2学期には、この夏休みの経験を生かしてほしいと思います。目標を立て、計画し、行動し、振り返る。この習慣は、勉強や部活動だけでなく、みなさんの将来にもつながる大切な力です。

まずは、この夏の自分の歩みを振り返り、「2学期はこんな自分になりたい」という新たな目標を考えてみましょう。

夏休みの4つの実践を振り返ろう② 自分で判断し、決定しよう

夏休みの始まりに、みなさんへ提案した4つの実践。その二つ目は、「自分で判断し、決定しよう」でした。私たちは毎日、多くの選択をしています。「今日は何時に起きるのか。」「先に宿題をするのか、それとも後にするのか。」「部活動のためにどのような練習をするのか。」「友達との約束や遊びの時間をどうするのか。」「夏休みは、学校の時間割に沿って生活する日々とは違い、自分で自由に使える時間が多くあります。その分、自分で考え、自分で決める場面がたくさんあったのではないのでしょうか。

みなさんは、この夏休みをどのように過ごしてきましたか。誰かに言われたから行動するのではなく「自分はどうしたいのか。」「目標を達成するためには何が必要なのか。」「今の自分にとって何がより良い選択なのか。」を考えながら行動することができたでしょうか。もちろん、自分で判断した結果、うまくいかなかったこともあったかもしれません。しかし、それも大切な経験です。人は失敗や反省を通して、より良い判断ができるようになります。

大切なのは、自分で決めたことに責任をもち、その結果から学ぶことです。夏休みも9日となりました。今一度、自分自身に問いかけてみましょう。●この夏、自分で決めて取り組んだことは何ですか。●判断に迷ったとき、どのように考えましたか。●うまくいった経験から何を学びましたか。●失敗した経験から何を学びましたか。

2学期には、学校行事や部活動、生徒会活動、日々の学習など、自分で考え判断する場面がたくさんあります。誰かの指示を待つのではなく、自分で考え、自分で決め、自分で行動する。その積み重ねが、みなさんの成長につながります。この夏休みに培った「自分で判断し決定する力」を、ぜひ2学期の学校生活で発揮してほしいと思います。